

2013年度第5回多摩デポ理事会

1 日 時：2013年10月1日（火） 午後6時30分～午後9時

2 場 所：国分寺労政会館第1和室（国分寺市南町3-22-10）

3 議決権のある理事：8名、出席理事：7名

出席者：座間直壯、平山恵三、齊藤誠一、田中ヒロ、手嶋孝典、堀渡、矢崎省三

欠席者：清田義昭

（事務局：蓑田明子）

4 報告及び協議事項

（1）第1号議案 会員の動向について【報告】

- ・9/30現在 正会員101名 3団体 賛助会員44名 1団体 計149名・団体
賛助会員退会1名

（2）第2号議案 除籍予定蔵書の他自治体所蔵調査について【報告】

- ・依頼された東大和市立中央図書館に検索結果を戻した後、作業に参加されたボランティア（会員11名、うち理事・事務局員以外6名、非会員3名）に、お礼と事業報告のメールを出した。
- ・前回理事会で「検索事業で発見できた多摩地域の希少本を所蔵する（東大和以外の）図書館へのシール貼りの要請を求めることは出来ないか」との議論があった → 理事長・事務局次長が、9/9に市町村立図書館長協議会の会長（調布市）を話題提供と情報交換のために訪問した。

（3）第3号議案 図書館資料の里親探しについて【報告】

- ・東大和市の除籍候補資料のうち、横断検索の結果、多摩地域で1冊、2冊しか所蔵がなく東大和
市で残すことになった資料以外の資料を対象に、里親探し事業を行なった。
- ・全集やコレクション対象資料、郷土資料の欠本等で、ほぼ確実に引き取り先があると思われるもの
を厳選した。多摩デポが横断検索した2991件、職員が横断検索した約8500件のデータから計
77冊の候補を選び、候補図書について、東大和市内に、除籍候補の箱から抜き取りと汚破損等の状
態確認をしてもらった。同市では除籍本の市民配布を9/11～30の期間で実施する準備中であっ
た。
- ・9/13里親募集開始（申込締切は9/25とした）案内した自治体14市（連絡方法はFAX13市、郵
送1市）
締め切り過ぎの9/27になり6市（日野、武蔵村山、国分寺、狛江、武蔵野、調布）計48冊の申
し込みであった。東大和市内にはこの48冊だけを里親本として引き取りたい旨の連絡。10月2日
に同市に現物を引き取りに伺い、配達を始める予定。
- ・欠本のご案内をしたが年鑑類の古い年度の補充は申込まれない、また今回は刊行年の古い全集の
欠本も申込まれない場合がある傾向が出てきた。
- ・多摩デポ事務所にある全集・参考図書の残りについては、秋以降に扱いを検討する。
- ・各自治体の図書館の担当者に声をかけ「里親事業の謝恩会」を開いてはどうか、という課題につ
いては、今回の提供の後、内部学習会後の状況、タイミングで考える。

（4）第4号議案 第18回多摩デポ講座（見学会）について【報告】

- ・「市川房枝記念館図書室」の見学会を8月29日（木）2時～4時で実施した。
- ・参加者は14名。大半は生前の市川房枝氏と何らかの関わりがあった人や、図書館関係者だった。
- ・平日の開催のため参加者はほとんどが市民だった。婦選会館に以前から関わりを持った人も、

書庫内の様子や資料をじっくり見る機会はなく、見せていただき有意義だったとの感想があった。

- ・戦前からの多くの資料が保存されていたが、ある時期から国立国会図書館退職者のボランティア達が整理を手がけるようになり、資料が系統立てて整理され、保存状態にも気が配られるようになっていた。以前からの会館を知る参加者からも、賞賛の声が上がっていた。

(5) 第5号議案 多摩デポブックレット第8号、第9号の発行について【報告】

- ・10月末(10/24～28頃)に2点同時に刊行(発行日付は11/1)する予定で動いている。

【8号について】

『被災資料救助から考える資料保存—東日本大震災後の釜石市での文書レスキューを中心に—』青木睦著

10/1 三校を著者に渡して最終点検を依頼している。

【9号について】

『電子書籍の特性と図書館』堀越洋一郎著

9/19 三校戻しを出版社に渡して校正を終了している。

※時間がかかり課題だったこの2冊のブックレット発行に目途がたった。

この後、2012年度通常総会パネルディスカッション資料集作成に取り組む予定。→ 資料集の具体的なプランについて、パネリスト等と相談しながらすすめたい。

- ・9/13 現在、既刊分の事務局在庫+2013年8月末けやき出版在庫/印刷部数(けやき出版預け)

① 41+51/1000(450) ② 122+40/1000(300) ③ 229+16/1400(300)

④ 382+37/1200(300) ⑤ 191+50/1000(400) ⑥ 326+39/1000(400)

⑦ 460+183/1000(300)

(6) 第6号議案 共同保存実現のための内部学習会について【報告・協議】

- ・理事、事務局レベルでの内部学習会とする。
- ・多摩地域の共同保存の見通しについて率直な議論を行ないたい。現状を認識し、一歩進めるには次は何が有効か。
- ・各市からの報告者には廃棄・保存の実情をざっくりばらんに話してもらおう(勤務図書館を代表する立場ではなく個人として来ていただく)。
- ・内容：2012年に西東京市が行った、各自治体の一冊本除籍時の他自治体所蔵点検状況調査結果の報告・分析、各市の一冊本除籍の実情や多摩デポに委託した作業の手応え、リクエスト提供のための他自治体依存率変遷、各自治体の書庫ひっ迫度や廃棄・共同保存問題への現場の空気など
- ・開催日：12月10日(火)夜、国分寺労政会館を予定する。
→ 企画について了承。理事、事務局はなるべく参加する。

(7) 第7号議案 多摩デポ通信第28号の発行について【報告・協議】

- ・発行は10月末(この号は、会員には新刊のブックレット2冊を同封して送付予定)
- ・第18回多摩デポ講座見学会見学記(元青山学院大図書館：若杉美智子氏より寄稿あり)
- ・映画「疎開した40万冊の図書」関連
- ・東大和市横断検索、里親探し事業報告
- ・2冊の新ブックレットのやや詳しい紹介
- ・メーリングリスト活用法連載2回目

- ・検索ボランティア事前登録の募集、ホームページ作り協力者募集
- ・その他

→ 予定内容について了承。映画「疎開した 40 万冊の図書」が、東京都写真美術館での上映が決まったようである。金高監督から一定部数のチラシが送られれば、同封して送ることも出来る。

(8) 第 8 号議案 ホームページのアクセス解析とメーリングリストの新規加入者への説明について

【報告・協議】

事務局で担当者が研究していた「ホームページのアクセス解析」について、ネット環境を用意して画面を見ながら報告した。絶対数は多くはないがほぼ毎日アクセスがあり、「多摩デポ」の固有な名やアドレスでダイレクトに入力するばかりでなく、アプローチの経路からすれば図書館界以外の方にも思いがけなく目にしてもらえているようである。前回理事会の議論の継続になるが、ホームページのコンテンツの充実を図る意義がわかる。丁寧に充実に努めていく必要がある。

(9) 情報交換

- ・埼玉県図書館協会図書館ネットワーク専門委員会から「資料保存に関する調査」の依頼文書が届いており、事務局で回答する。
- ・賛助会員の五味正彦氏（元模索舎）が 9 月 24 日に逝去された。
- ・芳賀啓氏の「古地図で読み解く江戸東京地形の謎」二見書房発行が 8 月 15 日に刊行された。
- ・インターネット上の無料の電子図書館「青空文庫」の呼びかけ人、富田倫生氏が 8 月 16 日に逝去され、追悼シンポジウムが 9 月 25 日に開催された。
- ・「市民活動資料・情報センター（仮称）」が西武拝島線玉川上水駅近くに 12 月 1 日仮オープンする。2002 年 3 月まで約 30 年間、東京都立多摩社会教育会館に設置されていた「市民活動サービスコーナー」の活動を NPO で継承しようとする、ミニコミの図書館である。

- ★ 次回の理事会 12 月 17 日（火） 午後 6 時半 国分寺労政会館 第 2 和室
- ☆ 次回の事務局会議 10 月 26 日（土） 午後 6 時半 調布市・たづくり

5 議事録署名人の選任

議事録署名人として 2 名を選任することを諮り、齊藤誠一理事と堀渡理事を選任することを全員異議なく承認した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2013 年 10 月 1 日

議長

議事録署名人

議事録署名人